

高石高等学校 29年度 学校教育自己診断 分析表

1 (生徒の) 学校生活の充実度

生徒 3.27 保護者 3.04 教職員 3.03

昨年度とほぼ同じ結果で、概ね生徒たちは学校生活に満足していると考ええる。

2 授業の分かりやすさ

生徒 2.79 保護者 2.54 教職員 3.20

教職員の肯定率に比べ、他からの評価は低い。

一層の授業力向上と、ICT機器の活用の充実が求められていると考ええる。

3 キャリア教育(進路指導)の充実度

生徒 2.99 保護者 2.99 教職員 3.19

概ね、似通った結果である。昨年に比べ、すべてで微増している。

4 挨拶の励行

生徒 3.21 保護者 3.10 教職員 3.02

生徒は上がったが、教職員は下がった。しっかりと声を出して、挨拶できる生徒を増やしたいと考ええる。

5 朝の読書

生徒 3.20 保護者 3.57 教職員 2.93

保護者のポイントが大きく上がった。

落ち着いた時間を作ることができ、生徒の成長に寄与していると考ええる。

6 部活動・学校行事の活発さ

生徒 3.08 保護者 3.21 教職員 3.09

昨年度よりもすべてで上がった。約70%の生徒が、部活動に関わり、放課後も充実した学校生活を送っている。体育祭や文化祭へも保護者が多数来校した。

7 人権教育の充実度

生徒 2.91 保護者 2.93 教職員 2.64

人権の大切さ、社会のルールを守る教育の充実が必要と考ええる。

8 防災教育の充実度

生徒 3.14 保護者 3.02 教職員 2.79

教職員は現状の改善を求めていると考ええる。高石市とも連携し、防災意識を高めたい。

※アンケートは、4～1の4段階で回答